

4 . 現在、取り組んでいる 住民支援型の公助

現在、取り組んでいる『住民支援型』の公助

～ 洪水予報、避難判断水位情報(国・県)～

実施事項	概要	対象河川
洪水予報の発表	<p>彦根地方気象台の降水量予測と、滋賀県の基準観測所における水位予測の情報を両者が共同で洪水予報として発表。</p> <p>洪水予報は、関係機関等に伝達するとともに、報道機関等を通じて流域住民に伝達。</p> <p>はん濫注意情報、はん濫警戒情報、はん濫危険情報、はん濫発生情報</p>	<p>日野川、姉川、高時川、野洲川上流、杣川、琵琶湖 (以下、直轄河川) 野洲川、草津川、瀬田川</p>
避難判断水位情報の発表	<p>水位周知河川において、沿川住民の避難勧告等の目安となる水位(避難判断水位)を設定し、河川水位がこの水位を上回ったときに、はん濫警戒情報を発表。</p>	<p>愛知川、姉川上流、安曇川 (以下、直轄河川) 草津川</p>



現在、取り組んでいる『住民支援型』の公助

～ 水防警報の発表・水防区域の公表(国・県)～



湖北地域振興局管内の水防区域図

水防警報の発表

- 対象とする量水標が一定の水位(通報水位・警戒水位)に達し、増水の恐れがあるとき、水防警報を発令し、**関係機関などに水防活動の準備や出動を要請**します。
- 水防警報河川
野洲川(水口橋)、杣川(北杣橋)、
日野川(増田橋、桐原橋)、
愛知川(紅葉橋、御幸橋)、
姉川(国友橋、難波橋)、
高時川(川合、錦織橋)
安曇川(舟橋、常安橋)
合計7河川12箇所

水防区域の公表

- 洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要とされる「**重要水防区域**」を公表。

現在、取り組んでいる『住民支援型』の公助

～ 浸水想定区域図の公表(国・県)～

公表済み河川: 6河川

日野川、野洲川上流、愛知川、
姉川・高時川、安曇川(県)

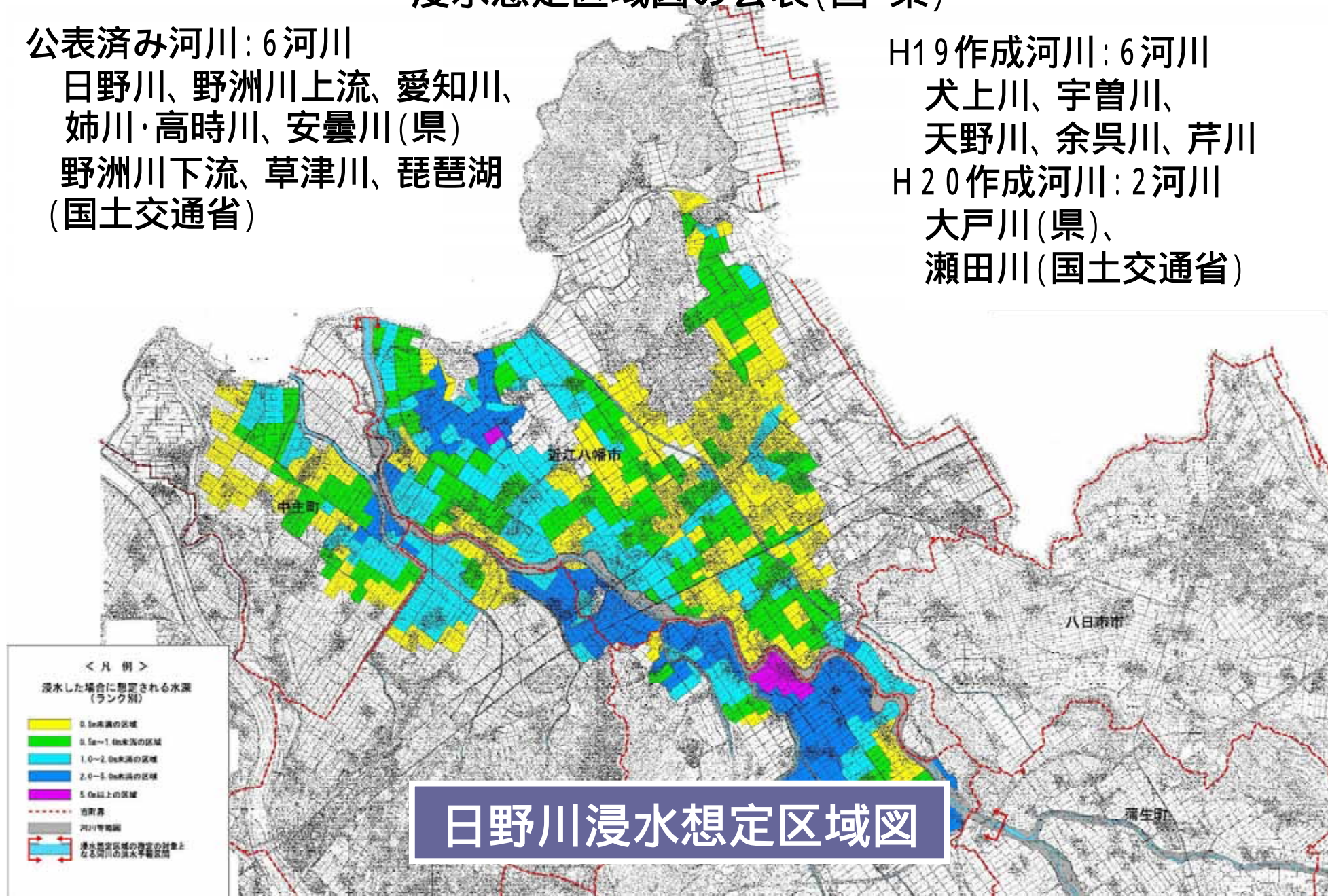
野洲川下流、草津川、琵琶湖
(国土交通省)

H19作成河川: 6河川

犬上川、宇曾川、
天野川、余呉川、芹川

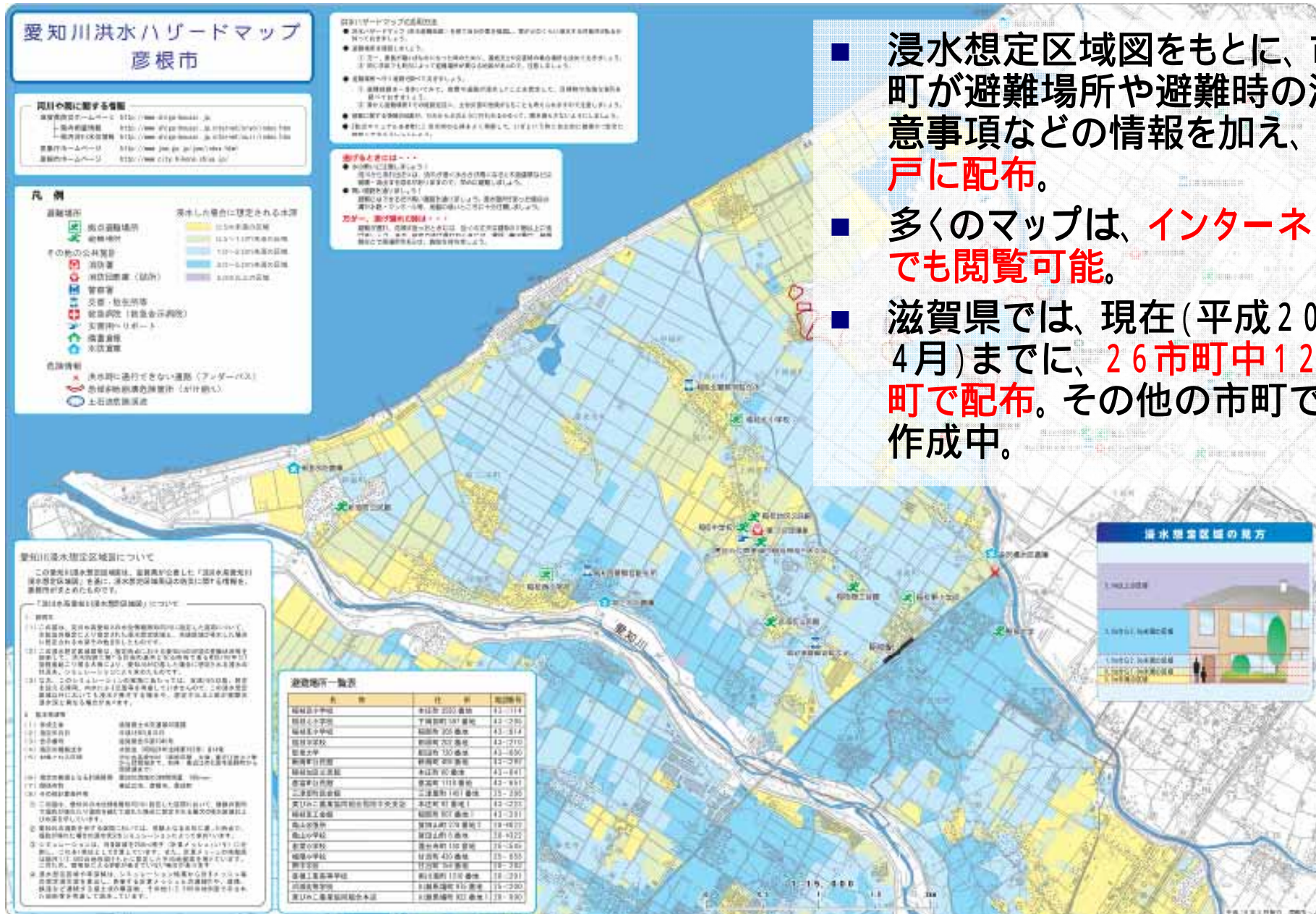
H20作成河川: 2河川

大戸川(県)、
瀬田川(国土交通省)



現在、取り組んでいる『住民支援型』の公助

～洪水ハザードマップの配布(市・町)～



現在、取り組んでいる『住民支援型』の公助

～ 携帯電話やインターネットを通じたリスク情報の発信(県)～

携帯電話を通じた情報提供
県内の雨量、水位



<http://www.shiga-bousai.jp/mobile/kasen.html>

雨量情報

雨量経過表	
大津 花折峠	
2月22日	
	10分/累加
21時30分	0 / 0
21時20分	0 / 0
21時10分	0 / 0
21時00分	0 / 0
20時50分	0 / 0
20時40分	0 / 0
20時30分	0 / 0
20時20分	0 / 0
20時10分	0 / 0
20時00分	0 / 0
19時50分	0 / 0
19時40分	0 / 0
累加開始時刻	
1時間更新	
戻る	

水位情報

水位経過表	
大津 中村橋	
通報水位	1.80 m
警戒水位	2.90 m
2月22日	
	水位 増減
21時30分	-0.51 →
21時20分	-0.51 →
21時10分	-0.51 →
21時00分	-0.51 →
20時50分	-0.51 →
20時40分	-0.51 →
20時30分	-0.51 →
20時20分	-0.51 →
20時10分	-0.51 →
20時00分	-0.51 →
19時50分	-0.51 →
19時40分	-0.51 →
1時間更新	
戻る	

『住民支援型』の公助にも課題

災害文化を壊してしまう。

地域の暗黙知(住民の実感)とは
異なる情報を伝えてしまう。

危険(安全)を誤認させてしまう。

ハザードマップも万能ではない。

情報の氾濫を引き起こしてしまう。

多種多様な情報や伝達方法がかえって現場の混乱を招く。

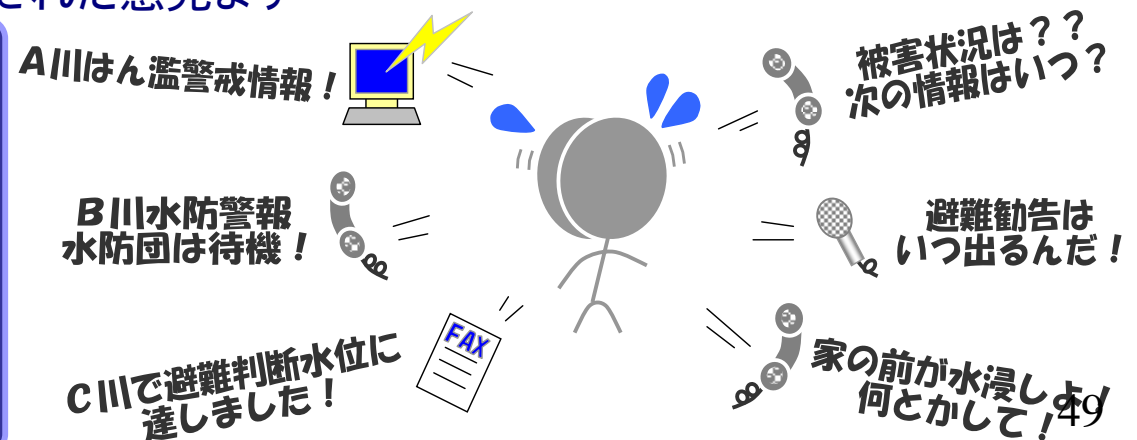
水害対応に関する不安

災害発生直前の対策	災害の警報等の伝達	予報・警報を関係者に伝達・周知 予報・警報の住民への広報
	住民の避難誘導	危険箇所の監視・警戒活動 避難誘導・準備情報・勧告・指示
	災害未然防止活動	水防活動の実施
情報の収集・連絡及び通信の確保	災害情報の収集・連絡	災害初動期における情報の収集・分析 県・国への報告 災害情報の伝送
	通信手段の確保	通信手段の確保・通信統制の実施
活動体制の確立	活動体制の配備	災害体制の配備
	応援体制の要請	県への応援の要請・広域応援体制の確立

参考)「大津市地域防災計画」災害応急対応計画

滋賀県流域治水検討委員会(行政部会)で出された意見より

- 担当を増やせない中で、**取り扱う情報がどんどん増え、対応に困る。**
- 情報伝達が統一できておらず、**避難勧告・避難指示が迅速に出せない。**



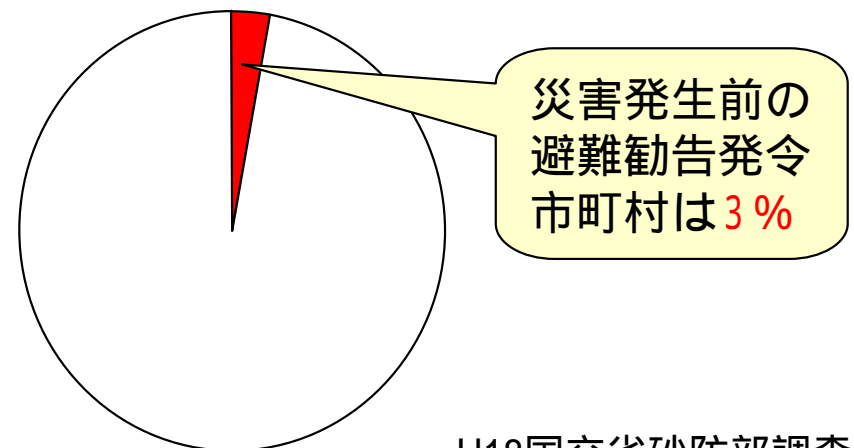
水害対応に関する不安

滋賀県流域治水検討委員会(行政部会)で出された意見より

- 現実に災害、また多くの降雨があった場合、**対応できるかというのは非常に懸念をしている。**
- 近年水害がなく、**行政・住民ともに水害経験がない**ので、いざというときについてきは不安を感じている。
- 年配の方から水害経験を聞くが、実際に最近の水害が起きていないので、**わからない状態で模索**している。

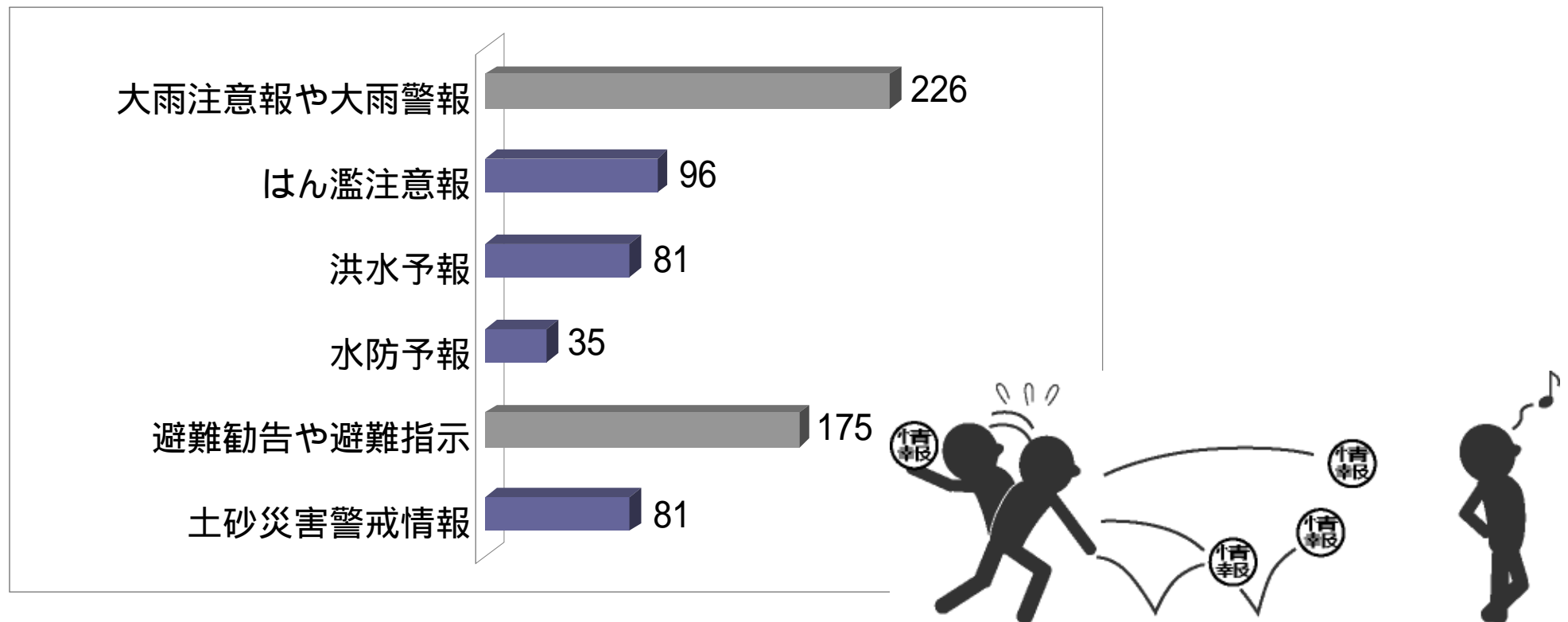
- 警戒水位になると避難勧告を出すことになっているが、**住民経験から「その位の水位では全然大丈夫だ」**など、なかなか動いてもらえない。
- 県が設定した警戒水位と経験的に伝わっている水位とに差がある。警戒水位になっても、空振りの恐れがあり**避難勧告を出すべきか判断に困る。**

警戒避難情報の難しさ (土砂災害の場合)



県政モニターアンケートの結果

問：水害や土砂災害の発生する危険性が高くなった時に出る情報のうち、あなたが知っているものすべてに をしてください。(複数回答可)



出典) 県政モニターアンケート(H19.12) 回答結果 回答数:228人

- 大雨注意報・警報、避難勧告・指示に比べ、はん濫注意情報、洪水予報、水防予報を知っている住民が非常に少ない。

湖北圏域

水害・土砂災害に強い地域づくり協議会

課題 姉川・高時川の破堤パターンによっては、町内の避難所が殆んど水没。

- 広域避難のための協定を締結
 - 長浜ドーム(県施設)を広域避難所としての利用。
 - 各市町の避難所を相互利用。
- 北陸自動車・PAの活用を要望

課題 市町職員の経験不足、人手不足、さらには、県が提供する避難判断水位と経験的に危険とされている水位とに差異があることなどから、避難勧告を出す判断が難しい。

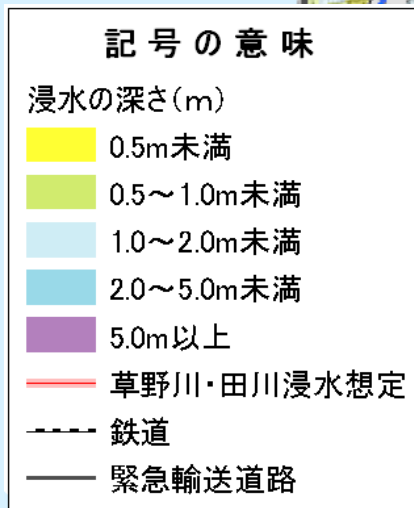
- 湖北2市6町で共通したルールづくり
- 避難勧告の判断のための支援資料の作成
 - 破堤パターンごとの浸水の広がり、利用可能な避難所の位置
 - 水位の換算表(水位観測局がない要注目箇所の水位の相関表)

湖北2市6町、国(琵琶湖河川事務所)、県(関係各課)で組織。

(構成) 協議会(副市町長、琵琶湖河川事務所長、県各課長)
担当者会議(担当者レベル)

ハザードマップは安全マップ!?

- 長浜市洪水HMIは、水防法に基づき、
 - 姉川・高時川浸水想定区域図
 - 琵琶湖浸水想定区域図から作成。それ以外の河川は対象外。
- 無着色や黄色のエリアは安全か？



2008.7.18 長浜での豪雨

米川などのはん濫により、市街地で11戸が床上浸水、203戸が床下浸水。